

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	Barrier E
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH 登録番号	割り当てられていない。
1.2	当該物質または混合物の記載されている重要用途および 指導対象の用途	
	記載されている用途	ひずみゲ<W のインスト<.
	~ に対して助言された用途	知られていない。
1.3	安全性データシート供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire イギリス RG24 8FW +44 (0) 1256 462131 +44 (0) 1256 471441 mm.uk@vishaypg.com
	電話	
	F a x	
	E メール(担当者)	
1.4	緊急電話番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC

2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州CLP規則 (No.1272/2008)	供給/使用に対して危険物に分類されていない。
2.2	表示要素	欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	Barrier E
	危険性を表す絵文字	割り当てられていない。
	注意喚起語	割り当てられていない。
	危険有害性情報	割り当てられていない。
	危険有害性情報	割り当てられていない。
	追加情報	次を含有する: 水域環境における未知の危険成分を含む混合物量 (%) : 40.

改訂: 2.0 日付: 07.09.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

40 混合物の x パーセントは、未確認の毒性成分で構成されています。.

2.3 他の危険有害性

なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 該当なし。

3.2 混合物

EC 分類 欧州 CLP 規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	REACH登録番号	危険有害性分類
Mixed rubber blend	25 - 35	-	-	割り当てられていない。	知られていない。
Kaolin	15 - 25	1332-58-7	310-194-1	割り当てられていない。	分類されていない。
Limestone (炭酸カルシウム)	15 - 25	1317-65-3	215-279-6	割り当てられていない。	分類されていない。
Asphalt	5 - 10	64742-93-4	265-196-4	割り当てられていない。	分類されていない。
Distillates (Petroleum), C3-6, Piperylene-Rich, Polymers With Isobutylene	< 10	152698-66-3	-	割り当てられていない。	分類されていない。
Poly Vinyl Chloride	≤ 5	9002-86-2	-	割り当てられていない。	分類されていない。
Polyester	< 5	-	-	割り当てられていない。	知られていない。
Carbon Black	< 5	1333-86-4	215-609-9	割り当てられていない。	分類されていない。
Antimony Trioxide	< 1	1309-64-4	215-175-0	割り当てられていない。	発がん性 区分 2; H351

H/P フレーズのテキスト全部分については、セクション 16 を参照する。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

呼吸困難の場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚接触

水でよく手を洗うこと。刺激 (発赤、発疹、水疱) があらわれた場合、医師の手当てを受けること。

目の接触

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受けること。

摂取

口をすすぐ。水をコップ二杯のむこと。無理に吐かせない。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

40 混合物の x パーセントは、未確認の毒性成分で構成されています。.

- 4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要状態 症状によって処置する。症状がすすんだ場合、医師の治療を受ける。

5. セクション 5: 火災時の措置

- 5.1 消火剤
適切な消火剤 周辺の火災に適切な。火事の際には、二酸化炭素または粉末をを使ってください。
不適切な消火剤 直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。
- 5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性 火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、硫化水素、酸化アンチモン群と酸化硫黄群。
- 5.3 消防士へのアドバイス 消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

- 6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置 適切な換気を確保する。安全に対処できるならば全ての着火源を取り除く。粉塵の吸入を避ける。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8.
- 6.2 環境的予防措置 環境に排出しないようにする。排水路、下水道または水路に入らないようにする。
- 6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材 13章に従って機械的に回収し廃棄すること。粉じんの発生を避ける。区域を換気し、物質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。
- 6.4 他のセクションの参照先 次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

- 7.1 安全な取り扱いのための注意事項 適切な換気を確保する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。粉塵の吸入を避ける。必要な個人用保護具を使用する。次の項を参照: 8. 本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。休憩前及び作業後には手を洗うこと。
- 7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む) 熱源および着火源から離れた、換気の良い (乾燥した) 冷所/低温の場所に貯蔵すること。直射日光を避ける。
保管温度 常温の。
保管期間 普通の状態安定。
混触危険物質 次のものから離して保管する。酸化剤類。.
- 7.3 具体的最終用途 ひずみゲ < W のインスト < .

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

8.1.1 職業暴露限度 確立されていない。

8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。

8.1.3 PNEC および DNEL 確立されていない。

8.2 暴露管理

8.2.1 適切な工学的管理 適切な換気を確保する。または適切な封じ込めを行うこと。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。

8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置 化学物質取り扱いのための一般的な衛生手段が適用できる。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。粉塵の吸入を避ける。休憩前及び作業後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗濯する。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

目/顔面の保護



目の保護: 該当なし。

皮膚の保護



手の保護: 長期間の皮膚接触を避ける。取扱い後は手を完全に洗うこと。

呼吸器の保護



室内が十分換気されていれば呼吸用保護具は必要ない。技術的な排気・換気方法が不可能または不十分な場合、呼吸用保護具を着用しなければならない。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール 環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的性質についての情報

外観 黒い 1 本の剥離ライナ°C・ (固体)

におい 無臭。

臭いの閾値 資料なし。

pH 該当なし。

融点/凝固点 資料なし。

改訂: 2.0 日付: 07.09.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

初留点と沸騰範囲	資料なし。
引火点	該当なし。
蒸発速度	該当なし。
燃焼性 (固体、ガス)	非引火性。
上限/下限可燃性または爆発限界	該当なし。
蒸気圧	該当なし。
蒸気密度	該当なし。
相対密度	1.25 (H ₂ O = 1)
溶解度	資料なし。
分配係数: n-オクタノール/水	資料なし。
自然発火温度	資料なし。
分解温度	資料なし。
粘度	該当なし。
爆発性	非爆発性。
酸化性	非酸化性。
9.2 その他の情報	知られていない。

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1 反応性	普通の状態です。
10.2 化学的安定性	普通の状態です。
10.3 危険な反応の可能性	有害な重合は起こりません。
10.4 避けるべき条件	熱と直射日光を避ける。
10.5 混触危険物質	次のものから離して保管する。酸化剤類。
10.6 危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素、硫化水素、酸化アンチモン群と酸化硫黄群。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1 毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
急性毒性	
摂取	40 混合物の x パーセントは、未確認の毒性成分で構成されています。これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日。
吸入	40 混合物の x パーセントは、未確認の毒性成分で構成されています。これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 (粉じん) > 5.0 mg/l。
皮膚接触	40 混合物の x パーセントは、未確認の毒性成分で構成されています。これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

改訂: 2.0 日付: 07.09.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

	急性毒性推定混合計算: 推定 LC50 > 2000 mg/kg 体重/日.
皮膚腐食性/刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖毒性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (単回暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
特定標的臓器への毒性 (反復暴露)	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
吸引性呼吸器有害性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
11.2 その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1 毒性	水域環境における未知の危険成分を含む混合物量 (%) : 40. これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 推定 混合物。 LC50 >100 mg/l (魚類)
12.2 残留性および分解性	成分の一部が低生分解性である。
12.3 生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4 土壌中の移動度	製品は土壌中で移動性が低いと予想される。(固体。)
12.5 PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6 その他の有害な作用	知られていない。

13. セクション 13: 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理法	環境に排出しないようにする。廃棄物は、承認された廃棄物処理施設に廃棄すること。
13.2 追加情報	内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

危険物輸送に関する UN 勧告(the United Nations 'Recommendations on the Transport of Dangerous Goods')によれば、分類されていない。

	ADR/RID / IMDG / IATA
14.1 国連番号	割り当てられていない。
14.2 UN 適切な船積み名	割り当てられていない。
14.3 輸送危険分類	割り当てられていない。
14.4 輸送危険分類	割り当てられていない。
14.5 環境に対する危険	海洋汚染物質として分類されていない。 / 環境的に有害な物質
14.6 使用者に対する特別な注意事項	次の項を参照: 2
14.7 MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠した	該当なし。

改訂: 2.0 日付: 07.09.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 2015/830 によれば

www.vishaypg.com

バルク輸送
14.8 追加情報 なし。

15. セクション 15: 適用法令

15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律

15.1.1 EU規制

高懸念物質 (SVHCs) なし。

使用の承認および/または制限 なし。

15.1.2 国の規制

Wassergefährdungsklasse(ドイツ) 水質危険クラス : 1

15.2 化学物質安全性評価 資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS), 調和した分類 Antimony trioxide (CAS# 1309-64-4). 既存の ECHA 登録 Antimony trioxide (CAS# 1309-64-4), Asphalt (CAS# 64742-93-4) と Carbon black (CAS# 1309-64-4), と 以下の分類・表示インベントリ Kaolin (CAS# 1332-58-7), Limestone (炭酸カルシウム) (CAS# 1317-65-3) と Polyvinyl chloride (CAS# 9002-86-2).

注釈

LTEL: 長期暴露限界 PNEC: 推定無影響濃度

STEL: 短時間暴露限界 PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性

DNEL: 求められた無影響量 vPvB: 高難分解性、高生物蓄積性

危険有害性情報

H351: 発がんのおそれの疑い。

研修アドバイス: 検討事項は、より高度なレベルの予防が必要になるかどうか決定するため、作業手順で関わることや将来的な被爆の程度に影響を及ぼします。

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件(法的なあるいはそうでない)はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません(欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS)の付録

製品安全データシート

改訂: 2.0 日付: 07.09.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) &
2015/830 によれば



www.vishaypg.com

利用可能な情報なし。